

體刑の復活

教授 瀧川 幸辰

「體刑の復活」といふのは、一種の奇聞である。體刑とは、古來に於ては、死刑に次ぐ最重の刑罰であつた。我國の刑法に於ては、明治二十九年(一八九六)の刑法制定以來、體刑は廢止されてゐた。然るに、最近の刑法改正の議論中、體刑の復活が提議されてゐる。これは、一種の奇聞である。體刑の復活は、一種の奇聞である。體刑とは、古來に於ては、死刑に次ぐ最重の刑罰であつた。我國の刑法に於ては、明治二十九年(一八九六)の刑法制定以來、體刑は廢止されてゐた。然るに、最近の刑法改正の議論中、體刑の復活が提議されてゐる。これは、一種の奇聞である。

イギリスの總選舉と労働黨の組閣

教授 森口 繁治

イギリスの總選舉は、六月十日に於て行はれた。これは、一種の奇聞である。イギリスの總選舉は、六月十日に於て行はれた。これは、一種の奇聞である。イギリスの總選舉は、六月十日に於て行はれた。これは、一種の奇聞である。

御進講の大意(下)

助教授 赤塚 孝三

浮游生物と天竺豆の概説。これは、一種の奇聞である。浮游生物と天竺豆の概説。これは、一種の奇聞である。浮游生物と天竺豆の概説。これは、一種の奇聞である。

紀伊沿海の藻類標本並にコンブ植物の生活史標本に就て

助手 井 耕二郎

これは、一種の奇聞である。紀伊沿海の藻類標本並にコンブ植物の生活史標本に就て。これは、一種の奇聞である。紀伊沿海の藻類標本並にコンブ植物の生活史標本に就て。これは、一種の奇聞である。

海藻の色素と夏蜜柑の生化學的研究

教授 小 松 茂

これは、一種の奇聞である。海藻の色素と夏蜜柑の生化學的研究。これは、一種の奇聞である。海藻の色素と夏蜜柑の生化學的研究。これは、一種の奇聞である。

風車

正 藤 本 大 助

これは、一種の奇聞である。風車。これは、一種の奇聞である。風車。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。辯證法の無理解的理解。これは、一種の奇聞である。辯證法の無理解的理解。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。辯證法の無理解的理解。これは、一種の奇聞である。辯證法の無理解的理解。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。辯證法の無理解的理解。これは、一種の奇聞である。辯證法の無理解的理解。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。辯證法の無理解的理解。これは、一種の奇聞である。辯證法の無理解的理解。これは、一種の奇聞である。

これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。自由論。これは、一種の奇聞である。

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

洋眼 吉田 藤 本 大 助

誓ひ固き關西學生講演聯盟

對同大陸上競技
霸權は二度本學に

新記録に勇躍する若人

[illegible]

社會見學は工場や刑務所へ

激刺たる講演部の活動
 目下内々に交際中であり、薩
 に恒続の社会貢献として今年
 の大工部を目下黄色中であら

不當檢束、學校事件を批判すべく

戦時中、東京、大阪、關東の
 各都市に於て、八割、九割、三割、
 四割に達した。東京の戦災被害者
 数は、戦前東京市管下の一帯に於て
 約一萬七千餘人に達した。此の間に
 約一萬餘人の死傷者を出した。東京
 市を占領した敵は、此の被害者の中
 心となるやうに、あるものたるや、
 是を

來週水曜開催の豫定
 徳川義経に於て申しつゝあるもの
 現代化する
 検束されて批判
 あるもの、事象
 學者は徳川義経希有者は徳川を
 徳川義経希有者は徳川を徳川を
 徳川義経希有者は徳川を徳川を
 徳川義経希有者は徳川を徳川を

吉岡
 山岡
 小倉
 小倉

敢然起つた先輩團の決議

[illegible]

共濟部とは運重分限

[illegible]

呼び歴史的に傳統的に上海

のほかに各器官に於て是れを以て
之に依つて離れて遠ざかるものと
あるが、それでも「衛生」は餘の
短く要求するところの習慣を「抱
都に一任すること」に依つては實現
せられない。財的の充足は衛生の
大要の要素によるの弊はないので
あるとしてゐる。爾ち「徳下野監
成」抱病部を成爲の諸問題を綜合

二、
ドライトリ

關西樂
音學

習察書では昨十一月十一日
亦公館内に於て聚

定曲に對する注視監督より、りの四曲も本邦初

[illegible]

王國高專大會期日

上海の社會狀態と
排日運動の根據

聯盟——公務局が

洛陽
品一

支那河本電
那原五
北町五
平三五
科嶺〇
理下九

十六日黑谷上

る十六日、日午前十時より、
 追り、野谷本家に於いて、
 廿九日、解部院案が懸行さ
 田、解部院案の真相に供さ
 死體の靈を慰めるため、
 學生君連綿絶死し、作持
 國の祭典明議に次ぎ、總長
 、分限提議、族其の慰解、
 國、野谷の御誼あり。

力直殊に量子論

▲山口一松山 10日後4時30分
▲K&Gーホツケー 同後5時20分
▲大阪一三誓 11日後4時30分
▲スター六高 同後5時20分
▲準決勝 12日後4時30分
▲決勝戦 13日後4時30分
▲籃球部、12・13兩日、於三高、
京展インターカレツヂ籃球大會に
出席第一回練習同大。

新しい文化の建

本人は中國人と雖も、
怨に報いるに計を以て
の態度を以て臨まなけ
ぬと結び講演を終つた。

日出會館で
映畫の

映畫館筆談では、日出會館
共同主催で、十五日夕々
出會館に於て、ラマルテ
によるレオンボマリエ
も「七巻」を朗讀す

十錢で學生には

簡閱點呼

軍事教練

去る十曜日午後三時半より
陸軍部にて簡閱點呼を
參加人員陸軍部十九名、

ついでに活動に際して

見學も時に行ふさうである。

今週の集

○京越化学談話會例會
(火)午後四時より京大工
て一、石炭の液化(見主工
蛋白質分解、藤田研究所
○京越移植民研究會例
日(金)午後三時より農
堀事務室で、戸田教授
ルの衛生状態)

口黑谷本山

てゐる様な傾向がある。一寸の爲に幾何光學は一すべからず自然科學と工業その他の各器械の功績は甚大である。要な光学器械の原理即ち究明が本書の使命であらう。

幾何光學原論第二編
生成の一般理論第二篇
縮小光学器械論即實物像器械に就て其原理と使用にしてゐる。本書は專断著作ではないが高等程

レタリアート苑に

究、日本前記の軍事實
ツチ(資料)河上肇の「
エンゲル」農民に關す
る二、三の研究がある
東京上野商店)

◇M.U.S.B. (六月號)
・ボス、短詩二章(岡田
セニ一の神々(竹中利一
オード(新華文入部メ
詩(老田三郎)フイリツツ

477

